



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月14日

上場会社名 株式会社 T Y K  
 コード番号 5363 URL <http://www.tyk.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 牛込 伸隆  
 (氏名) 北原 謙  
 TEL 0572-22-8151

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	21,765	5.2	2,941	6.9	3,124	6.4	1,707	3.2
2019年3月期第3四半期	20,691	21.0	3,160	71.2	3,336	53.8	1,654	30.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,246百万円 (148.8%) 2019年3月期第3四半期 902百万円 (68.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	38.51	
2019年3月期第3四半期	37.08	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	43,024	32,865	67.2	654.79
2019年3月期	41,690	31,202	66.2	618.41

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 28,893百万円 2019年3月期 27,597百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		5.00		4.00	9.00
2020年3月期		3.00			
2020年3月期(予想)				3.50	6.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,700	1.9	3,400	1.2	3,540	3.6	1,489	26.8	33.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2020年2月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	45,477,000 株	2019年3月期	45,477,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	1,350,621 株	2019年3月期	850,571 株
------------	-------------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	44,339,982 株	2019年3月期3Q	44,626,641 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記述されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)におけるわが国の経済情勢は、雇用・所得環境が改善される一方で、製造業での設備投資の鈍化、海外経済の減速を受けて輸出や生産を中心に弱さが長引く等の景況感悪化が見られました。海外では、米国は堅調な個人消費を背景としながらも設備投資で陰りがみられ、欧州やASEANの経済鈍化の他、中国も個人消費や生産が弱含み、経済が減速しております。このような状況の中、米中通商摩擦、英国のEU離脱、中東情勢等の地政学リスクや原油価格や為替の動向等の不安定な状況が継続するものと思われれます。

当社グループ(当社及び連結子会社)の主要取引先であります国内鉄鋼業界におきましては、当第3四半期連結累計期間における粗鋼生産量は前年同期比4.6%減の7,431万トンとなりました。

このような環境のもと、当社グループは品質第一の考えをもとに売上増加と生産性向上に全力で取り組んで参りました。主力製品である製鋼用耐火物をはじめ、ファインセラミックス等の先端素材技術や環境創造技術へ挑戦し、コスト削減等の経営合理化を進めて参りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間においては、次の通りの経営成績となりました。

売上高は、第2四半期から当第3四半期にかけて若干減少したものの、主要顧客であります製鋼メーカー向け耐火煉瓦及び不定形耐火物等や新素材関連商品の堅調な売上に支えられ、217億65百万円(前年同期比5.2%増)となりました。

利益面では、2018年末まで続いておりました原材料の調達コストの高騰は落ち着きましたが、それらの備蓄した原材料の使用による原料費や減価償却費等の負担増加等の影響により採算性が悪化し、売上原価が前年同期に比べ11億73百万円(前年同期比8.1%)増加しました。販売費及び一般管理費についても1億20百万円(前年同期比4.0%)増加したことにより、営業利益は29億41百万円(前年同期比6.9%減)となりました。

営業利益の減少の他、為替が前年同期に比べ円高傾向であったことから、当第3四半期連結累計期間は為替差損57百万円を計上することとなり、経常利益は31億24百万円(前年同期比6.4%減)となりました。

また、損害補償損失引当金戻入額1億9百万円を計上することにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は、17億7百万円(前年同期比3.2%増)となりました。

セグメントの経営成績は、次の通りであります。

## ①日本

国内の売上高は169億63百万円(前年同期比7.4%増)となりました。国内顧客向け販売は、引き続き引き合いを頂いております。セグメント利益は29億55百万円(前年同期比23.1%増)となりました。

## ②北米

北米の売上高は17億20百万円(前年同期比6.8%減)となりました。第2四半期から当第3四半期にかけて売上が伸びなかったことと売上原価の上昇を受け、セグメント損失は24百万円(前年同期は53百万円の利益)となりました。

## ③ヨーロッパ

ヨーロッパの売上高は23億12百万円(前年同期比0.6%減)となりました。当第3四半期に売上が伸びなかったことと売上原価の上昇を受け、セグメント利益は2億30百万円(前年同期比12.1%減)となりました。

## ④アジア

アジアの売上高は4億5百万円(前年同期比5.0%減)となりました。当第3四半期に売上は若干増加したものの販売構成の変化により、セグメント利益は22百万円(前年同期比50.6%減)となりました。

## ⑤その他

その他の売上高は3億63百万円(前年同期比25.5%増)となりました。また、セグメント利益は1億11百万円(前年同期比5.7%増)となりました。

(2) 財政状態の状況

(流動資産)

流動資産の残高は前連結会計年度末に比べ、11億26百万円増加し、263億23百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加（11億81百万円）によるものであります。

(固定資産)

固定資産の残高は前連結会計年度末に比べ、2億7百万円増加し、167億1百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産の増加（1億16百万円）、投資有価証券の増加（1億6百万円）によるものであります。

(負債)

負債の残高は前連結会計年度末に比べ、3億28百万円減少し、101億59百万円となりました。その主な要因は、賞与引当金の減少（3億37百万円）、損害補償損失引当金の減少（1億9百万円）によるものであります。

(純資産)

純資産の残高は前連結会計年度末に比べ、16億62百万円増加し、328億65百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加（13億96百万円）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,914,757	9,096,526
受取手形及び売掛金	8,808,057	8,636,958
製品及び外注品	3,522,135	3,797,626
仕掛品	1,573,739	1,532,503
原材料及び貯蔵品	3,282,913	3,097,848
その他	117,997	189,126
貸倒引当金	△22,867	△26,879
流動資産合計	25,196,733	26,323,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,044,927	2,025,144
窯炉、機械装置及び運搬具（純額）	2,423,636	2,473,976
土地	4,806,214	4,806,930
その他（純額）	458,205	543,443
有形固定資産合計	9,732,984	9,849,495
無形固定資産	57,836	64,227
投資その他の資産		
投資有価証券	6,209,764	6,316,641
長期貸付金	6,130	820
繰延税金資産	369,664	353,502
その他	193,226	192,008
貸倒引当金	△75,869	△75,561
投資その他の資産合計	6,702,915	6,787,410
固定資産合計	16,493,736	16,701,133
資産合計	41,690,470	43,024,843

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,789,159	1,736,199
短期借入金	3,967,659	3,915,776
未払法人税等	651,827	588,757
賞与引当金	523,968	186,483
損害補償損失引当金	109,251	—
その他	1,049,925	1,284,163
流動負債合計	8,091,792	7,711,380
固定負債		
繰延税金負債	486	1,117
役員退職慰労引当金	745,373	763,398
退職給付に係る負債	1,594,264	1,627,504
その他	55,716	55,704
固定負債合計	2,395,841	2,447,724
負債合計	10,487,633	10,159,104
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,398,000	2,398,000
資本剰余金	2,462,007	2,462,007
利益剰余金	21,971,988	23,368,742
自己株式	△164,039	△310,666
株主資本合計	26,667,956	27,918,083
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,096,091	1,157,110
繰延ヘッジ損益	593	—
為替換算調整勘定	△167,263	△181,705
その他の包括利益累計額合計	929,421	975,404
非支配株主持分	3,605,458	3,972,251
純資産合計	31,202,836	32,865,739
負債純資産合計	41,690,470	43,024,843

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	20,691,124	21,765,325
売上原価	14,537,255	15,710,647
売上総利益	6,153,868	6,054,677
販売費及び一般管理費	2,993,337	3,113,351
営業利益	3,160,531	2,941,325
営業外収益		
受取利息	3,508	2,858
受取配当金	178,471	178,787
不動産賃貸料	60,929	61,240
その他	29,458	35,188
営業外収益合計	272,368	278,074
営業外費用		
支払利息	25,037	26,649
不動産賃貸原価	8,146	8,026
為替差損	53,746	57,394
その他	9,402	3,176
営業外費用合計	96,332	95,247
経常利益	3,336,567	3,124,153
特別利益		
固定資産売却益	833	900
投資有価証券売却益	29	—
貸倒引当金戻入額	2,500	86
損害補償損失引当金戻入額	—	109,251
特別利益合計	3,363	110,237
特別損失		
固定資産廃棄損	18,890	25,805
投資有価証券評価損	108	1,385
投資有価証券売却損	—	104
ゴルフ会員権評価損	650	—
貸倒引当金繰入額	350	—
損害賠償金	—	14,975
特別損失合計	19,998	42,270
税金等調整前四半期純利益	3,319,932	3,192,119
法人税等	1,182,232	990,529
四半期純利益	2,137,700	2,201,590
非支配株主に帰属する四半期純利益	483,032	493,951
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,654,667	1,707,639



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,137,700	2,201,590
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,221,902	63,747
繰延ヘッジ損益	△2,446	△593
為替換算調整勘定	△10,407	△17,855
その他の包括利益合計	△1,234,757	45,298
四半期包括利益	902,943	2,246,888
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	428,316	1,753,622
非支配株主に係る四半期包括利益	474,626	493,266

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年6月5日開催の取締役会決議に基づき、自己株式500,000株の取得を行いました。この結果、単元未満株式の買取りによる増加を含め、当第3四半期連結累計期間において自己株式が146百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式が310百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント(耐火物関連事業)					その他 (注)	合計
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,802,138	1,845,074	2,327,823	426,649	20,401,686	289,437	20,691,124
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,104,936	6,470	61,927	20,296	2,193,629	788,648	2,982,278
計	17,907,074	1,851,545	2,389,750	446,945	22,595,316	1,078,086	23,673,402
セグメント利益	2,401,121	53,882	261,874	45,240	2,762,118	105,528	2,867,647

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連製品、窯業機械器具、建築、修繕、運輸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,762,118
「その他」の区分の利益	105,528
セグメント間取引消去	△28,826
全社費用(注)	321,710
四半期連結損益計算書の営業利益	3,160,531

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント(耐火物関連事業)					その他 (注)	合計
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,963,975	1,720,026	2,312,712	405,501	21,402,215	363,110	21,765,325
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,131,112	1,420	67,652	103,421	2,303,605	816,649	3,120,255
計	19,095,087	1,721,446	2,380,364	508,922	23,705,821	1,179,759	24,885,580
セグメント利益又は損失(△)	2,955,788	△24,050	230,227	22,357	3,184,322	111,574	3,295,897

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連製品、窯業機械器具、建築、修繕、運輸等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,184,322
「その他」の区分の利益	111,574
セグメント間取引消去	△29,808
全社費用(注)	△324,763
四半期連結損益計算書の営業利益	2,941,325

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

1. 株式給付信託（従業員持株会処分型）の導入

当社は、2019年11月14日開催の取締役会において、従業員の福利厚生増進及び当社の企業価値向上に係るインセンティブの付与を目的として、「株式給付信託（従業員持株会処分型）」（以下、「持株会型E S O P」という。）の導入を決議いたしました。2020年2月14日開催の取締役会において、その詳細を決議いたしました。

<持株会型E S O Pの内容>

(1) 信託の目的	持株会に対する当社株式の安定的な供給及び信託財産の管理・処分により得た収益の受益者への給付
(2) 委託者	当社
(3) 受託者	みずほ信託銀行株式会社 みずほ信託銀行株式会社は資産管理サービス信託銀行株式会社と包括信託契約を締結し、資産管理サービス信託株式会社は再信託受託者となります。
(4) 受益者	受益者適格要件を充足する持株会加入者
(5) 信託設定日	2020年3月2日
(6) 信託の期間	2020年3月2日から2025年3月17日まで（予定）
(7) 取得株式の種類	当社の普通株式
(8) 取得価額の総額	99,515,000円

2. 第三者割当による自己株式の処分

当社は、2020年2月14日開催の取締役会において、当社がみずほ信託銀行株式会社と締結する信託契約に基づいて資産管理サービス信託銀行株式会社に設定される信託E口に対し、第三者割当により処分することを決議いたしました。

(1) 処分期日	2020年3月2日
(2) 処分株式種類及び数	普通株式306,200株
(3) 処分価額	1株につき金325円
(4) 処分総額	99,515,000円
(5) 処分予定先	資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）
(6) その他	本自己株処分については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。